

瀬戸臨海実験所構内"研究道路"に2012年に初めて出現した熱帯性の サツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科)

久保田 信

First appearance of a tropical cockroach *Opisthopteria orientalis* (Blattaria, Blattoidea)
in 2012 on "Research Road" of the campus of the Seto Marine Biological Laboratory
at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

Shin Kubota

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所 (〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459)

はじめに

南方系ゴキブリ類のサツマゴキブリ *Opisthopteria orientalis* が、瀬戸臨海実験所構内の研究棟入り口付近から正門前までの舗装道路 ("研究道路") に、2011 年には大量に、頻繁に、長期間出現した (久保田, 2011)。冬には出現しなくなったが、この研究結果の続篇として、今回、2012 年にいつ頃から本種が"研究道路"に現れるのか調査したので報告する。

材料と方法

調査方法は前回とほぼ同じで (久保田, 2011)、日の入り後に数時間を経過し、周囲が暗くなってからライトを道路に照らして約 10 分間の目視観察を行なった。2012 年 1 月中旬から 4 月下旬までの期間中、調査は各月あたり 2-3 回 (調査日になるべく初旬、中旬、下旬にあたるよう設定) 行い、計 10 回行なった。

結果と考察

サツマゴキブリは"研究道路"の中央付近と正門前に少数の成体が 4 月初旬に出現したが、研究棟前の道路には出現しなかった。各々の個体の動きは鈍くなかったが、この理由は、夜とはいえ気温が低くなかったからと推察され

る。因みに初出現日の 4 月 5 日 20:20 の気温は、17.5℃であった (4 月 23 日 19:50 は 18.5℃)。

1 - 4 月の 4 箇月間に実施した 10 回の各々の調査年月日・時間、本種の発見地点および個体数 (生体) のデータを以下に列挙する。

- 2012 年 1 月 11 日
(以後、月日を 0111 の方式で示す)
0111 18:51 - 19:00 0
- 0123 20:35 - 20:45 0
- 0131 19:30 - 19:40 0
- 0207 19:50 - 20:00 0
- 0224 20:03 - 20:10 0
- 0227 19:05 - 19:15 0
- 0313 18:48 - 19:05 0
- 0325 19:40 - 19:50 0
- 0405 19:50 - 19:59 3 正門前付近
- 0423 19:40 - 19:50 1 研究道路中央付近

引用文献

久保田 信. 2011. 夏から初冬に瀬戸臨海実験所構内に大量出現した熱帯性のサツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, 24: 53-56.